

地球元氣村

PART
5

物 黄文明の恩恵を求めて自然破壊を繰り返す人間も、考えてみれば、その生命は自然の営みそのものです。だから人は、自然の懷に抱かれると、心の安らぎを感じます。誰の心にも、地球元氣村はあるので

自然に優しく、
心にも優しいスポーツ、
それがバイクです。

豊 かな自然を抱える自治体に遊びのフィールドを開放して貢献する自然と遊ぶ人の環を広げる、それが活動の内容です。彼がキャスターをつとめるテレビ番組もあるから、ご存知の方も多いでしょう。共鳴する人も増えてるようで、黒間村長の地球元氣村は、全国的な広がりを見せています。

彼 の理念は明快です。「人が元気に生きられるのも、地球の自然があればこそ。こうした真理に理屈は要らない、自然の中で無心に遊べば、誰でもそれは感じます。聖人君子の自分じゃないが、自然と遊ぶ仲間を増やして、地球の自然を守りたい。」いつも言ひ発想です。

彼の理念は明快です。「人が元気に生きられるのも、地球の自然があればこそ。こうした真理に理屈は要らない、自然の中で無心に遊べば、誰でもそれは感じます。聖人君子の自分じゃないが、自然と遊ぶ仲間を増やして、地球の自然を守りたい。」いつも言ひ発想です。

「バイクで北極へ行く。」そんな遠方もない夢まで実現した男、黒間深志君は、数多くの挑戦で知られる冒険ライダーです。自然の優しさ、厳しさ、そして偉大さを誰よりも知る黒間君、地球元氣村はそんな彼が、十年前から取り組むユニークな環境活動です。



バイク万歳！

より多くの人々が、自然との遊び心に目覚める二十一世紀、その思いをカタチにするならバイクです。だからバイクは素晴らしい。

す。社会の情報化が加速する二十一世紀、休日は自然の中でどうう人は、もっともっと増えるでしょう。でも、野や山へと続く道路は、今車も出来ない。ゆっくり駐車が出来よう、野山を削ってあげますか。人が元気に生きられるのも、元気な地球があればこそ。地球の元気をこれ以上、削り取るのは嫌ですね。だからバイクです。バイクで出かけるなら、野山を削っていたたく必要ありません。そして、バイクは、先を読み、危険を回避する能力を高めるスポーツです。前方の動きを目に追い、周囲の動きを耳で聞き、風の刺激を肌で感じて先を読むスポーツです。バイクで走ればそれだけで、心は自然に帰ります。そして、野山へつづく道さえ、地球元氣村に変わります。

次号PART 6では、「バイクが好きです」をテーマに掲載予定です。